

町民のみなさまへ

草津町長 黒岩 信忠

- A) 今回は、私が就任して以来最も力を入れてきた政策であり、今の観光経済を支えている礎となった「景観とまちづくり」の整備についてお知らせいたします。
- B) 町長に就任して直ちに取り組みをしたのが湯畑の再整備事業です。その後、西の河原公園の再整備を進め、裏草津地蔵整備、立体交差と温泉門整備、草津温泉スキー場再構築事業と進めてきました。最初は点でしたが、これらを面へと広げ、エリアごとにテーマが変わる独創的なまちづくりを進めてきました。
- C) 草津町のまちづくりは、どこかの真似ではなく、また、どこかが草津の真似をしようとしてもできない独創的かつ唯一無二の街へと変貌しました。
- D) 草津町はコンパクトシティで、町中を歩いて廻れる良さがあります。楽しさがぎゅうぎゅう詰め。老若男女を問わず、お客様にワクワク感を与える街へと変貌しました。これからは進化を止めることはありません。
- E) **全国には2, 934の温泉地があります。そのトップランカーであり続けるために。**

第一、【街なみ環境整備事業】

- ① 行政が進めるまちづくりに合わせ、民間事業者が行う事業です。平成22年度～令和6年度、街なみ環境整備事業助成金など、**総額で1億6千500万円になります。**また申請件数は121件になります。

第二、【湯畑再整備事業】

- ① **（御座之湯関連）**旧福久住旅館跡地の擁壁補強。草津湯源湯路街構想プロジェクト事業費、御座乃湯建設工事3億8千388万円。電線地中化工事など、**平成22年度～令和6年度まで、10項目の工事費合計は5億300万円になります。**
- ② **（湯路広場関連）**湯路広場整備工事など、**平成24年度～平成25年度まで、工事費合計は3億100万円になります。**
- ③ **（熱乃湯関連）**熱乃湯建設工事費3億1千439万円など、**平成25年度～令和6年度まで、8項目工事合計は3億4千万円になります。**
- ④ **（湯畑周辺整備）**湯路広場前修景工事、湯畑湯滝瓦階段、湯畑湯滝脇木階段整備など、**平成23年度～令和6年度まで、9項目の工事費合計は1億6千万円になります。**
- ⑤ 湯畑の再整備を行うことにより、入り込み客数は着実に増えてきました。名付けて「シャンパンタワー作戦」としましたが、グラスを積み重ね、上からシャンパンを注ぐと、溢れたシャンパンは下に流れ、全体のグラスを満たすことになります。
- ⑥ 就任した当時は、借金だらけの財政で予算に限りがあり、一番投資効果の高い湯畑に着

手してその効果を周りに広げる構想を描きました。狙いどおり入り込み客数が数字に表れ、次に西の河原公園→裏草津地蔵→温泉門→草津温泉スキー場へと整備を進めました。

- ⑦ もしこれらの事業をせずにいたら16年前の入り込みのままか、最悪はさらに落ち込むことも否定できない状況にありました。数十年前からの入り込みデータは、右肩下がりの傾向にありました。
- ⑧ 県内主要温泉地のバブル期対比入り込み客数は60～70%に留まっています。草津温泉はバブル期対比で133%と驚異的な伸びを示しています。平成22年度～令和6年度までの湯畑再整備事業費の合計は13億1千100万円になります。

第三、【西の河原再整備事業】

- ① **（公園整備）** 不動滝周辺工事、天狗山ビジタートイレ、西の河原公園整備、西の河原入口トイレ整備など**平成24年度～令和6年度まで、10項目の工事費合計は2億3千300万円になります。**
- ② **（西の河原歩道整備）** 西の河原公園道路融雪工事、西の河原露天風呂～鬼の相撲場歩道整備、西の河原穴守稲荷周辺整備など**10項目の工事費合計1億3千600万円になります。**
- ③ 湯畑再整備につづき西の河原公園の整備を行いました。狙いどおりお客様が泉水通りを歩くようになりました。様々な飲食店やおみやげ店が工夫を凝らし、楽しいエリアになったと思います。全国の温泉地でも食べ歩きのできる所は少ないと思います。

※ 西の河原公園再整備事業費の合計は3億7千万円になります。

第四、【裏草津地蔵整備事業】

- ① **平成29年度～令和4年度、湯畑～地蔵小道整備、湯畑～地蔵路地修景整備事業、湯畑～地蔵路地展望デッキ工事、地蔵の湯階段新築、高台広場整備事業、カフェ及びギャラリー新築高台広場整備、地蔵源泉広場（足湯・顔湯）通路木塀、百年石別邸など、20項目の整備工事費合計は7億7千500万円になります。**

第五、【温泉門建設及び立体事業】

- ① **令和2年度～令和6年度、温泉門駐車場建設、温泉門及び融雪工事、温泉門駐車場トイレ建設工事など、14項目の総事業費は4億6千600万円になります。**
- ② 旧坂田スタンド前の一時停止は、渋滞を引き起こす最大の原因になっていました。朝、目が覚めたとき、この場所に立体交差ができないかと思いつき、調査を進めたところ、可能であるとの報告を受け、坂田さんのご理解をいただき、ガソリンスタンド敷を町で買い取らせていただきました。坂田さんには感謝をいたします。
- ③ 味気ないコンクリート構造物の立体交差は観光草津の入り口にふさわしくない思いから、共に仕事をしてきた北山創造研究所に構想を依頼したところ「温泉門」の提案がされました。即決で採用を決め、構想から9年後の令和5年10月25日に竣工・開通を迎えることができました。
- ④ いまや温泉門は全国的に知られようになり、新たな観光スポットになっています。草津の入り口でお客様を迎える温泉門として、その存在感に絶大な評価を頂いております。

- ⑤ また、立体交差及び温泉門と連動して作った駐車場は、渋滞緩和と本町中央通りの活性化につながると判断しました。一般論で、「温泉門の足湯へ入りに来る人はいないよ。」と言われましたが、狙い通りの賑わいを見せています。またレベルの高いオシャレで清潔なトイレは非常に評価が高いです。

第六、【中央通り地区整備事業】

- ① **令和元年度～令和6年度、草津湯源湯路街構想プロジェクト事業費、色彩の陵整備、中央通り整備工事、バスターミナル乗降場整備など8項目の工事費合計は4億4千800万円になります。**
- ② 私が中学生のとき、草軽電車が廃線になりました。以前は旧東急ホテル駐車場周辺に草津温泉駅があり、湯畑まで歩くお客様がいましたが、廃線をきっかけに人通りが少なくなりました。昔の賑わいを少しでも取り戻そうと思い整備を進めてきたものです。
- ③ 車道と歩道の高さをフラットにして、石の張り方で、車道を狭く見せる視認効果により、スピードを抑制する道路にしました。また、車道と歩道の境に紅葉の植栽を取り入れ、デザインとして黒塀を所々に設置した、独創的でオシャレな通りになったと思います。

第七、【ライティング（照明）事業】

- ① 草津「灯路計画」と名をうち、ライティング事業を進めてまいりました。照明の設計者は、世界で活躍する「面出薫照明デザイナー」を起用しました。東京駅、六本木ヒルズの照明を手がけた人物です。
- ② 最初に湯畑の照明を行い、西の河原公園、裏草津地蔵、役場庁舎、温泉門などのライティングを行いました。特に草津の夜を劇的に変えたのは湯畑のライティングです。お客様の声として、昼間の湯畑も良いけど、夜の湯畑は全く違う景色になる。幻想的で感動するとの評価をいただいております。
- ③ 照明をするきっかけになったのは、私が夜、自転車で西の河原と湯畑を見に行ったとき、もうもうたる湯気が立ち昇っていました。「そうだ、この湯気に光をあててみよう」と考え、設計事務所に指示をしました。どこにも真似のできない、「湯気のゆらぎに光をあてる。」草津温泉が全国に誇れる事業の一つです。

第八、【コロナウイルス対策関連事業】

- ① 草津温泉の泉質は細菌類に対して強力な殺菌力があることは判っていましたが、コロナウイルスに効果があるのか全く解りませんでした。町民の方から、「群馬大学がコロナウイルスの研究している。検証をさせたらどうですか。」との提案がありました。早速、群馬大学の教授に検証をしてもらい、湯畑の温泉は1分間で99.12%の不活化率を示しました。
- ② これに基づき、町内各所に「手洗乃湯」を設置しました。令和2年度～令和4年度まで、**手洗乃湯工事費及び研究費等で、総額2千300万円になります。**

第九、【町政の現状】

- ① 草津町は人口が少なく連動する予算規模も小さくなります。ですが、観光にかけた予算

は他の温泉地とは比較になりません。大胆かつ大規模に行なった投資効果は確実に数字に表れています。町長として責任を持って判断してきました。

- ② 令和7年、湯畑の地価（路線価）上昇率が10%となり県内でトップになりました。まちづくり効果の一つだと思います。
- ③ もし、投資効果が出なければ、黒岩の能力がない証で、すでに町長職を退いていました。経済、政治とも結果が全てとされる時代です。頑張ったけど上手くいかなかったと情に訴えて何か変わるでしょうか？トップの決断は組織の浮沈に関わることなのです。昔はともかく、今は結果責任を明確にする時代になりました。
- ④ 莫大な予算を観光に投じてきましたが、黒岩町政が福祉教育をおろそかにしたのでしょうか？それは違います。福祉教育関連予算についても5割以上を増やしてまいりました。
- ⑤ 政治の原点は「町民の皆様の幸せを願うことにあります。」そして、皆様が草津町民であると誇りを持って言える町にしなければなりません。
- ⑥ 私が町議のとき、市川紘一郎元草津町長が挨拶をしたときの話を紹介します。
「お父さんの仕事を『観光』に、「お母さんの仕事を『福祉』」に例えた話です。」
「お父さんは家族を扶養するため収入を得る仕事をしている。」一方「お母さんは日常の家事を行いながら家庭を守る仕事をしている。」では、どちらが大切な仕事ですか？
- ⑦ これを「比べるものではなく、両方とも大切な仕事だ」とする話です。心に残る例えで全くそのとおりだと思いました。黒岩信忠の政策も「福祉（教育）と観光が両立するまちづくり」にあります。

第十、【編集後記】

- ① 草津温泉の入り込みはバブル期にあってもキャパ対稼働率はさほど高くなく、黒岩の町長就任時は民間、行政とも最悪で、非常に厳しい経済状況下にありました。また入り込み客数だけではなく、消費単価が低く、安売りの草津温泉と言われていたと思います。
- ② 町長就任後、幾つものアクシデントに直面しましたが、コロナ禍にあっても「まちづくり」を止めることなく進めてきました。草津温泉は「じゃらん人気温泉地ランキング」で箱根を抜き2年連続で1位になりましたが、担当部長から、「草津町の凄さはどんな状況下でも次のステージに移行する進化を止めなかった。これが他の温泉地との違いで、結果に表れた」と評価を頂きました。
- ③ 例え話ですが、草津温泉の変遷を大型ジェット機のフライトに重ねてみますと、バブル期でも飛行高度はさほど高くなく、バブル崩壊後はエンジン出力不足で飛行高度が落ち、対地接近警報アラートが鳴る寸前でした。
- ④ その後、「まちづくり」の効果により徐々に高度を上げてきましたが、安定水平飛行とされる10,000メートルまでは到達していないと思います。様々な視点から、現在の飛行高度は8,000メートル前後だと思います。予期しない乱気流に巻き込まれたら、一気に失速しかねません。「KUSATSU・ONSEN」ブランドをまとった機体を安定飛行高度まで上昇させるパイロット（為政者）の技量が求められています。
- ⑤ 草津町の経済は入り込み客数だけではなく、消費単価など、経営には様々な要素が求められます。宿泊産業、飲食店、土産店、商店、建設土木など、この町で業を営む人達、この町で暮らす人々の興隆と没落はリーダーの施策によるところが大きいと思います。